

■インタビュー 品質保証部 宮本 邦晟 様

Q1. まずは簡単に自己紹介と現在検討されている業務内容を教えてください。

宮本邦晟です 2016 年入社で、只今勤続 9 年目になります。職歴としては、一番最初にはプリンターの開発部門に所属していました、その後、生産部の生産技術部に所属していました。今現在は品質保証部で仕事を行っています

Q2. デュプロ精工に入社を決めた理由や決め手となったポイントは何でしたか。

決め手なんですけれども、ものづくりを最初から最後まで、一貫して携わることができるというところで、デュプロ精工を選びました

Q3. 入社してから感じた職場の雰囲気や社風について印象的だったことはありますか。

そうですね。デュプロ精工は課長とか係長といったような、役職というのがあまりありませんので、そういうところから、上司とかリーダーに対して相談とか、質問がしやすいような職場環境でした。

Q4. 学生時代に力を入れていたことが今の仕事に役立った経験はありますか。

学生時代なんですけれども、私自身は工学部を卒業して、大学の方では 3DCAD とかそういったものに対して、しっかり学んではいました。入社した後、一番最初は開発部門で働いていましたので、そういう 3DCAD を学んだところは、すごく活かすことができたかなと、いうふうに考えています。

Q5. メカ設計職、生産部、品質保証部とキャリアチェンジを重ねてこられましたが、それぞれの部署で学んだことや印象的だったことを教えてください。

まず、メカ設計職に関してなんですけれども、量産設計することの大変さというのをすごく学びました。やはり量産で生産するとなると、多少部品が 0.何ミリとかそういう世界なんですけれども、部品がちょっと大きかったりとか、小さかったりとか、そういうところがあるので、実際の部品のばらつきとか、そういうところを意識しながら設計するというのがすごく大変でしたし、学んだところになります。続いて、生産部で学んだところとか、印象的だったところというのは、デュプログループの中国工場で新機種の立ち上げがありまして、中国の現地の方に 生産指示を行ったことがすごく印象的でした。やはり通訳してくれる方がいたんですけども、言葉の壁とか細かなニュアンスが伝わらなかったりとか、そういうコミュニケーションでなかなか難しさを感じて感じたのが印象的でした。続いて、品質保証部で学んだことなんですかね、品質改善とか品質を上げるために、正直言うと根本的な解決をするということがすごく大切というところを学んでいます 特に何か不具合があって場当たり的に対応したとしても、根本解決にはなっていないので、なかなかしっかりと品質を上げることができないというふうには考えています。ですので、その新機種を立ち上げの際とか、今、品質面を意識した上で開発するようにというのは心がけています。

Q6. 品質保証部として大切にしているポイントは、やりがいを感じる瞬間はどんな時ですか。

まず大切にしているところに関しては、限られた時間の中で、業務を行う必要がありますので、特に市場クレームの削減につながるような、既存の製品の品質を上げるようなところの箇所に絞った上で、重点的に業務を行うことをすごく意識しています 実際、全てに手を広げるというのはなかなか難しいので、効果的に品質を上げるようなところにポイントを絞った上で業務を行っています

Q7. 育休取得をされてから、ライフステージの変化をどのようにキャリアに活かしていますか。

今まで仕事と妻と二人の家庭だったんですけども、子供ができたことで仕事プラス育児も積極的にやっていかなければいけないというところで、1日は24時間と限られていると思いますので、仕事も昔のようにずっと残業もなかなかできない、早く家に帰って育児もししなければいけないので、できるだけ1日の仕事の流れは効率的に終わらすようにというはすごく意識しています。育児と仕事を両立することによって得られたところでいうと、生産性が結果的には上がったのかなというふうに考えています。

Q8. 異動やキャリアチェンジを希望する方にアドバイスできることはありますか。

はい 異動やキャリアチェンジというのを考えると、すごく不安に感じる方も、多いとは思うんですけれども、一歩踏み出すことで、見える景色というのが大きく、実際は変わることがあるので、新しい環境に実際に身を置いてみて、いろいろ経験してみるというのが、すごくいいことかなと、考えています。実際、新しい部署とかでの新しい経験というのは、自分の視野を広げて、スキルアップとか価値観を広げるとか、そういうきっかけにもなると思います。人生の中で様々な経験を積むことは、きっと、自分自身を豊かにしてくれることだと思いますので、もし迷っているのであれば、異動とかキャリアチェンジとか、そういうことに、挑戦してみてもいいのかなと思います。

Q9. デュプロ精工で働くことで得られたやりがいや成長を感じる瞬間ございますか。

はい 成長を感じる瞬間なんですけども、もちろん製品のことが詳しくなってきたりとか、製品の使い方とか仕様だけじゃなくて、メカ的な原理とか、そういうところを年月を重ねることで深く分かってくるというのは、すごく成長を感じるところになります。
やりがいなんですけれども、自分が設計した製品とか、あるいは生産部とか、品質保証に異動した後も、自分が携わった新機種が実際に作られて、お客様のところに届けられる、その十一連の流れに参加できることは、すごいやりがいを感じます

Q10. 職場でのコミュニケーションやチームで仕事を進める上で大事にしていることは何ですか。

はい コミュニケーション上、大切にしていることなんですけれども、相手が伝えたい本質は何かというのをしっかりと把握することです。またそれから自分が相手に伝えるときも、質問に対してしっかり答える。また、こちらが答えることも、できるだけ簡潔にして、相手にわかりやすいように、答えるというところを意識しています

Q11. ワークライフバランスや福利厚生で特に良かったな使ってみて助かった制度があれば教えてください。

特に福利厚生の中で良かったと感じているのは、育児休業になります。おそらく男性社員が初めて、半年間という長期で取得したんですけども、なかなか育児休業を申請しづらい会社も、世間には、いろいろあるとは思うんですけども、デュプロ精工の場合は、半年という長期の育児休業に関しても すんなり申請できて、職場の皆さんもそれに対して、温かく認めてくれたというか、そういったところが、すごい良かったなと感じています

Q12. 今後チャレンジしたいことや目標、夢を教えてください。また、その実現のために努力していることがあれば教えてください。

まず、品質保証部に異動したのが、今年になってからというところもありますので、まずは品質保証部の業務内容を一通り覚えた上で、早く品質保証部の中で力になれるようになるところを今現在、直近の目標になっています。夢としては、できるだけお客様が満足できるような、品質上問題のないというところもそうなんですけれども、実際にデュプロ精工の製品を使うことによって、お客様が喜んでもらえるような製品づくりをしていきたいというふうには考えています

宮本様、本日は ありがとうございました。ありがとうございました。